

推進体制

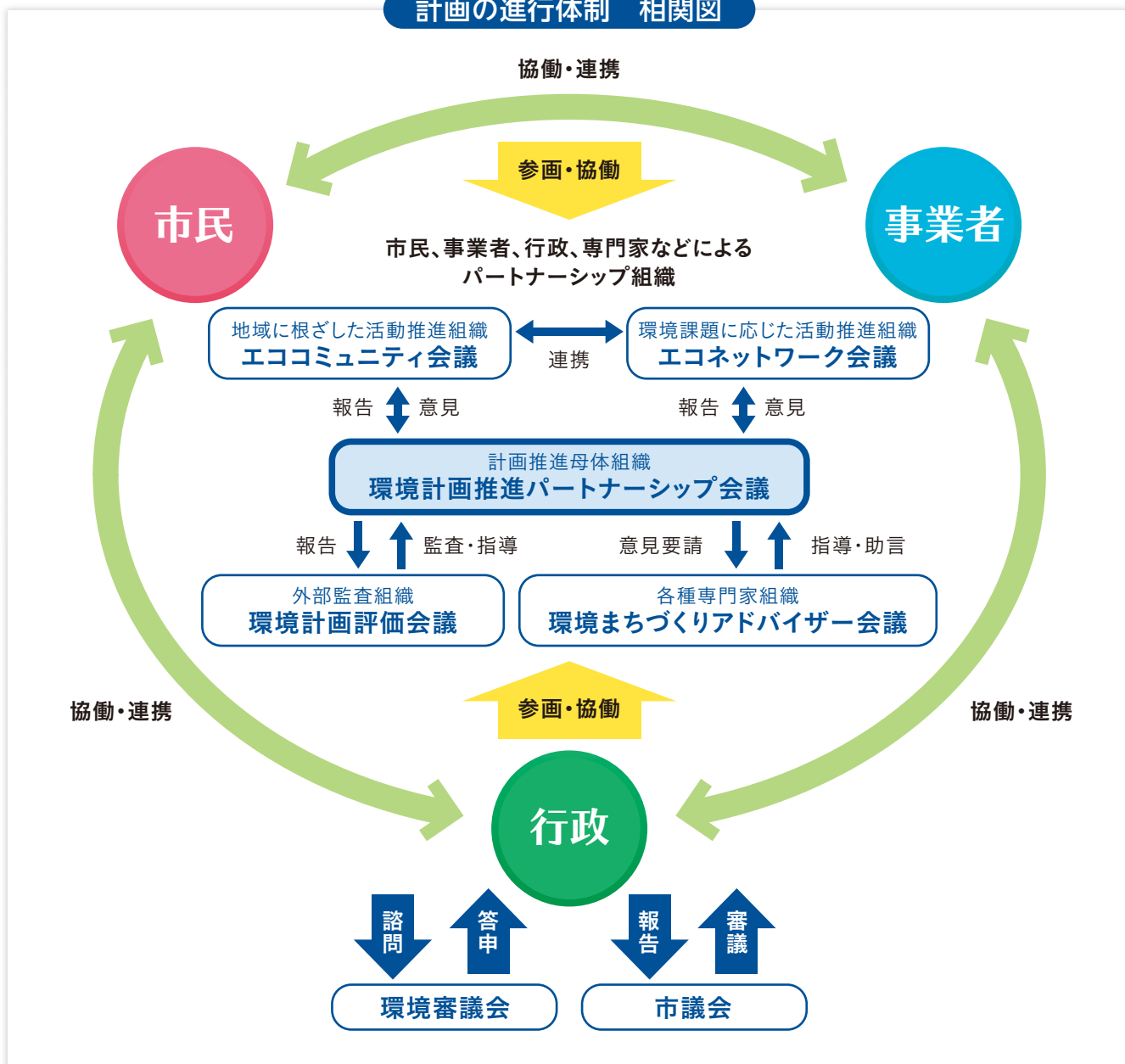
西宮市新環境計画

平成 17 年、環境学習都市宣言の理念を具体的に実現していくための計画として、西宮市新環境計画を策定しました。この計画は、西宮市の豊かな自然環境や恵まれた文化的環境など、地域特性を生かした総合的な環境づくりを推進する基本計画であり、環境学習都市宣言の 5 つの行動憲章を基本目標としています。

望ましい環境像

人を育み、人が育む 環境学習都市・にしのみや
～共生と循環のところで次代につなぐ 山のみどりとあおい海～

計画の進行体制 相関図



推進体制

計画に掲げる目標を達成するためには、市民・事業者・行政の各主体がそれぞれの役割や責任を果たしていくこと、そして各主体が協働・連携して進めていくことが必要となります。新環境計画では、行政が主導するのではなく、参加者自らの西宮市の環境を考える姿勢を重視する体制を取り入れています。各会議とも、設置の段階から、市民・事業者・行政の協働で運営し、対等な立場で活発な活動を展開しています。



■ 環境計画推進パートナーシップ会議

新環境計画の推進母体組織です。市民・事業者・専門家・行政で構成されており、望ましい環境像に向けて、環境目標を達成するための各種実行計画の策定や目標数値の決定、計画全体の進捗状況の管理、継続的な環境改善に向けた方針決定などを行います。



■ 環境計画評価会議

計画の進捗状況や成果について、毎年、定期的に監査し、改善指導を行う組織で、市の環境マネジメントシステムが有効に機能しているかをチェックする外部監査の役割も担います。外部監査の結果や改善事項については、環境計画推進パートナーシップ会議に報告され、事業内容へ反映される仕組みとなっています。



■ エココミュニティ会議

地域に根ざした新環境計画の推進を図るため、市内の中学校区を活動の基本単位として地域が自主的に設置する推進組織です。地域において環境や福祉、教育、広報などの分野で活躍している市民や、環境に関心のある地域団体、事業者、市職員など、地域の実情に応じてさまざまな主体により構成されます。各エココミュニティ会議では、それぞれの地域の環境特性を踏まえたテーマを設定し、活動しています。